

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	17075
課題名	産褥心筋症のために体外設置型補助人工心臓を挿入した患者の補助人工心臓の離脱が決定するまでの心理的変化
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2017年12月31日
研究の対象	2017年3月から産褥心筋症のために体外設置型補助人工心臓（Ventricular Assist Device：以下体外式VAD）による治療を実施し離脱までに至った患者さん1名を対象とします。
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：年齢、家族構成、発症状況、治療経過、経過の中での患者さんの言動、主観的データ、客観的データ、看護師の関わり 等） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究の意義、目的	<p>体外式VADは、心臓のポンプ機能が低下した患者さんの心臓に対して機械的にポンプ機能を補助・代行する装置です。体外式VAD治療中の心理的支援に関わる看護研究は少ない現状にあります。</p> <p>本研究では、産褥心筋症のために体外式VAD治療が必要となった患者さんの体外式VAD治療を開始してから外すことが可能と決定するまでの心理的変化を明らかにすることを目的としています。本研究によって今後体外式VAD治療を受ける患者さんへの適切な看護ケアへつなげていくことができるのではないかと考えています。</p>
研究の方法	体外式VAD治療を開始してから外すことが決定するまでの期間の診療記録から治療の経過と療養中の心理に関わる記述を抽出し経時的にまとめます。
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 電話：0166-69-3715 9階東病棟 看護師 九鬼郷美（研究責任者） 看護師長 中村智美</p>

